

贈り物 + 垣間見る
キリストの復活の人々
ボ・ストーン・ブレイディー
2024年・6月・2日

エペソ人への手紙は、地方教会に宛てて書かれています。希望、癒し、自由、繁栄についての指示です。教会について教会に宛てた指示です。この本は、すべての行に発見すべき何かがあり、ほとんどすべての言葉に貴重な意味が込められているため、私を魅了します。そして、ゆっくりと手紙を読み進めているときにこの聖句に出会ったとき、それが私たちの信仰に不可欠であると感じましたが、これまでこのことに本当に気づいたことは一度もありませんでした。そこで、今日はエペソ人への手紙の一角にとどまり、イエスが私たちに何を語っておられるかを見ていきます。

“あなたがたもまた、キリストにあって、真理の言葉、すなわち、あなたがたの救の福音を聞き、また、彼を信じた結果、約束された聖霊の証印をおされたのである。この聖霊は、わたしたちが神の国をつぐことの保証であって、やがて神につける者が全くあがなわれ、神の栄光をほめたたえるに至るためである。”

エペソ人への手紙 1:13-14 口語訳

3つの文に4回登場します。キリストにあって/彼にあって。家族の一員。私たちは十字架上でのキリストの働きを通して養子とされ、父なる神の真の息子、娘です。「キリストにあって」というこの2つの言葉は私たちにとって非常に重要です。キリストにあって私たちは神の所有物となります。これが三位一体の3人のうちの2人ですが、3人目はどうでしょうか。聖霊についてはどうでしょうか。ここでもその働きが見られ、ワクワクします。

“この聖霊は、わたしたちが神の国をつぐことの保証であって、やがて神につける者が全くあがなわれ、神の栄光をほめたたえるに至るためである。”

エペソ人への手紙 1:14 口語訳

私たちの教会では聖霊の役割についてあまり話しません。それは少し奇妙に感じられるからかもしれません。あるいは、一部の人々や信仰共同体が聖霊の働きを誤用したり誤解したりして、その誤りが損害を引き起こしたからかもしれません。「聖霊はあまりにも誤用されているので、関わりたくない」と言う人をたくさん知っています。しかし、お金もそうです。食べ物もそうです。結婚もそうです。私たちの世界にある価値あるものはすべて誤用される可能性があります。すべての霊的賜物や祝福の目標は、それが私たちにとってどのように機能し、機能するべきかを判断することです。ヘイフォード「誤用は使用しない理由にはなりません。」

“いのちと信心とにかかわるすべてのことは、主イエスの神聖な力によって、わたしたちに与えられている。それは、ご自身の栄光と徳とによって、わたしたちを召されたかたを知る知識によるのである。”

ペテロの第二の手紙 1:3 口語訳

イエスの力は、私たちに命と敬虔さに必要なすべてのものを与えてくれました...すべてです。必要なものはすべてすでに持っているのでしょうか？それは何でしょうか？それはどこにあるのでしょうか？その多くは聖霊の御心の中に含まれており、エペソ人への手紙のこの文章は、その理由をさらに理解するのに役立ちます。

(コロサイ人への手紙の私のメモから)イエスに宿る神の充満。」イエスは、至高の美、愛、力をすべて詰め込んで、私たちの破壊され、残酷な世界にそれをもたらしました。そして、イエスは去りましたが、それは私たちにとってより良いことだと約束しました。なぜなら、聖霊が至高の美、愛、力をすべて携えて来て、それを私たちの破壊され、残酷な心にもたらすからです...あらゆるところに、一度に。イエスは弟子たちに「それは来る」と約束しました。そして、「それを待ちなさい...」と言いました。そして、それは来ました。上の部屋に。その出来事の結果の1つは、彼らが異言を話したことです。それは非常に異常に思えるので、私たちはよく注目しがちです。しかし、私たちの生活には聖霊から多くの力と平和がもたらされ、今も続いています。これについては、後で詳しくお話しします。要するに、イエスは、私たちを、あらゆる瞬間、あらゆる方法で共にいてくれる聖霊なしに去ろうとは思っていませんでした。そして、私たちが聖書を手に取り、イエスに従うという決断をして聖霊を置き去りにすることを、イエスは思っていませんでした。

聖霊は、今開かれ、使われ、享受されるべき賜物であり、また、私たちにもたらされる真の命と相続財産を垣間見るものでもあります。

- 私たちは聖霊の印を押されています(gk: 保証または保存のための印)
- それは預り金です(gk: 購入代金または財産の一部で、これから起こることに対する保証として前払いされます。頭金)
- 相続(遺産)
- 私たちの償還のため: apoとlutronの複合語から。完全な身代金、つまり解放、またはキリスト教の救済

私の友人は、事業が好調だった年に、遺産の少額だが重要な部分の子供たちに前もって贈与しました。2つのことが起こりました。彼らは全員、そのお金を使って、当面の生活を変えることができました(1人は借金を返済し、もう1人は切望していた家のリフォームを行いました)。その贈り物によって彼らの生活は変わりましたが、その贈り物は、将来彼らが受け取る遺産の規模と範囲を垣間見るものでもありました。

聖霊は、これから起こることへの預託です。聖霊は、今私たちの生活を変えることを意図していますが、イエスの贖いの全容を指し示すことも意図しています。(もしあなたが、20年後に2000ドルを相続し、そのうち100ドルを今、将来的に損をすることなく手に入れることができると知っていたら、あなたはそれを受け入れますか？この人生は厳しいものです。人生は短いものです。不公平です。私は、もっと力強く、平和に、そして知恵を持ってこの人生を乗り切るのに役立つかもしれない贈り物を、テーブルの上に残したくありません。繁栄...それが聖霊の預託です。)

聖霊が私たちのためにして下さることがいくつかあります。

実:

ヨハネ16章で、イエスは弟子たちに聖霊が彼らをすべての真理に導くと語っています。イエスは実際に聖霊を「真理の霊」と呼んでいます。この時代に真実を知ることは困難です。正確な報道のために

私たちが頼りにしていた人々、機関、政治家、メディアは、当てにすることが難しくなっています。そして、私たち自身の状態に関する情報の最も信頼できない情報源は、しばしば私たち自身です。数週間前にこのことについて話しましたが、私たちはしばしば自分の人生について最悪の語り手です。

(先週行ったウェビナー:あなたは、自分の人生に対するイエスの意志や道から外れた、不親切または真実ではない物語を、どのような方法で自分自身に語っていますか?)

聖霊はあなたについての真実を知っており、私たちの欺瞞や自己嫌悪、自己誇張の物語を私たちの父の真実に置き換える新しい語り手になります。父の善良で健全で永続的な真実です。神が私たちを見るのと同じように私たち自身を見るまでは、世界のあらゆるものを神が見るのと同じように見るのは非常に難しいというのが私の理論です。聖霊は、私たちが誰であるかについての事実フィクションを置き換えるのに役立つ贈り物であり、それは私たちに今すぐに利用可能です。

方向: ポールはどこへ行けばよいのか正確に探しています...聖霊が道を塞いでいます。私だったら、おそらく肩をドアに押し当てて、本当に強く押していたでしょう。ポールは聖霊の声に慣れ親しんでおり、NOの音を聞くとそれを知っています。もしいくつかのドアが閉まったままだったら、あなたの人生はどうなっていたでしょうか。

“ところが、わたしたちが受けたのは、この世の霊ではなく、神からの霊である。それによって、神から賜った恵みを悟るためである。”

コリント人への第一の手紙 2:12 口語訳

聖霊は、私たちの人生における神の意志を知る手助けをしてくれます...しかし、私たちはしばしば「神の意志」は名刺に書かれた肩書きのようなものだと考えます。これは私がすべきこと、または私があるべき姿です。しかし、聖霊は私たちが神の意志を日々追求するのを助けるためにここにいます。難しい人間関係の問題では、ある人にとって正しいと思われる道がありますが、最後は死の道です。私たちはこう尋ねます。「今の私の反応における聖霊の道は何ですか?」(トリとお金。私はそれを直したかったのですが、聖霊が「だめ。彼女に任せなさい」と言っているのを感じました。)

聖霊の賜物? それを貫く? 教会で働くには賜物が必要です。日々の生活で働くには賜物が必要です。忍耐?

祈りの中で私たちを擁護する

“わたしたちは、この望みによって救われているのである。しかし、目に見える望みは望みではない。なぜなら、現に見ている事を、どうして、なお望む人があろうか。もし、わたしたちが見ないことを望むなら、わたしたちは忍耐して、それを待ち望むのである。御霊もまた同じように、弱いわたしたちを助けて下さる。なぜなら、わたしたちはどう祈ったらよいかわからないが、御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである。そして、人の心を探り知るかたは、御霊の思うところがなんであるかを知っておられる。なぜなら、御霊は、聖徒のために、神の御旨にかなうとりなしをして下さるからである。”

ローマ人への手紙 8:24-27 口語訳

執り成し＝「一致する」。聖霊が私たちの生活のあらゆる場面で執り成しをし、私たちが主の永遠の目的に「一致する」ことができるようにすることを指します。この考えは、「そして私たちは、すべてのことが益となることを知っている」ということになります。これは私たちの生活における聖霊の働きであり、物事を神の意志と一致させ、神が私たちの中に、そして私たちを通して築き上げている美しい働きの一部となるようにすることです。すべては、祈りの場で聖霊があなたを擁護することから始まります。(火曜の夜の祈り...)

現在、我が国には、同じ神に対して相反する願いをぶつける人々が大勢います。少なくともそのうちの1つは間違っています。私たちは間違ったことを熱心に真剣に祈ることがあります。

快適

ヨハネ16:7で、イエスは聖霊を慰める者、助言者、助け手と呼んでいます。これは、私たちがよく考えるよりも大きな意味があると私には感じられます。聖霊は、私たちの全財産の保証金であり、今ここで、私たちの悲しみに慰めを与えてくれます。

快適さとは、身体的な安らぎと痛みや束縛からの解放を意味します。または、安らぎ、苦難からの解放、安息、くつろぎ、静けさ、満足感、幸福感、居心地の良さ

お悔やみカードに「神の慰めがありますように」と書いてある。これは、私たちが経験している悲しみに対する、本当に弱い慰めのように聞こえるかもしれませんが、しかし、聖霊の慰めは単なる交わりではなく、超自然的に痛みを和らげたり和らげたりするものです。火傷で割れたアロエベラの植物のように。その慰めは真実で、現実的で、即時のもので、聖霊の超自然的な慰めは、これまでの私の人生で最も深い賜物の一つです。正直なところ、それがなかったらどうやって生き延びていたかわかりません。焼けつくような痛みの瞬間に、聖霊はアロエベラの植物の香油のようにイエスの愛を塗るために現れました。それが私の心を包み込み、傷を癒し、嵐を静めてくれた様子は説明できません。

聖霊を受けるにはどうすればよいでしょうか。ただ尋ねてください。そして関係を築いてください。(例：山をドライブする。一人ではない。)

“神の聖霊を悲しませてはいけない。あなたがたは、あがないの日のために、聖霊の証印を受けたのである。”

エペソ人への手紙 4:30 口語訳

私たちは、あまりにも少ないもので生きています。あまりにも少ない力。あまりにも少ない洞察力。あまりにも少ない知恵。あまりにも少ない平和。あまりにも少ない成長。すべての成長は、私たちの世界における聖霊の働きによって開始され、活性化されます...しかし、私たちはそれを奇妙なものにしています。私たちは、誤用と乱用によって、活発で聖霊に満ちた生活から遠ざかっています。イエスをもっと知りたいと思う者として、聖霊に導かれ、養われ、満たされることを正常化する必要があります(エペソ 1:17-18)

返事

祝禱: わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の父が、神を知る上で、知恵と啓示の霊をあなたに与えてくださいますように。また、あなたがたの心の目が開かれ、神の召しの希望と、聖徒たちに対する神の栄光ある相続財産の富と、信じるわたしたちに対する神の力の並外れた偉大さを知ることができるようにと願います。